

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 11 月 15 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203245		
法人名	有限会社美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい草津		
所在地	〒733-0863 広島市西区草津南1丁目6番12号 (電話) 082-501-4622		
自己評価作成日	平成27年10月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203245-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年11月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

電車・バスなどの交通の便もよく、隣には大きな公園もあり、緑の多い環境です。特に力を入れている点は入居者の方の看取りです。ホームドクターや看護師とも連携を取り、本人・家族の意向を確認し、行っています。
利用者様と一緒に作業し、生活を共に過ごしながらいをくみ取り、安心して暮らして頂ける様に努めています。花見や敬老会等の行事を企画し、利用者様家族にも喜んで頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

要望（お墓参り、美容院など）を叶える取り組みや「これまでの生活が維持・継続」できるように利用者に寄り添いながら支援がなされている。年間目標（長期・短期）を掲げ、具体的な計画に基づいて取り組んでいる。元漁師町で、行事が盛んな地域でもあり、季節毎の行事があれば参加し、日頃から散歩や買い物などで近隣住民との関わりを重ね、日常的に交流を図っている。職員は、利用者個々の生き甲斐、役割づくり（洗濯物を畳む、食事の準備など）を常に考えて実践している。同グループ全体が、最後まで看取りを支援して行く指針で、医療との連携体制が整っているのも利用者や家族の安心に繋がっている。また、季節毎の旬にこだわった手作りメニューはとても好評である。今後も活動を通じて、利用者の身体機能の維持を図り、職員間のコミュニケーションを密に行い、統一したケアづくりに力を入れていきたいと考えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「美泉」開設当初よりの運営理念があり、掲示し唱和している。この理念を基に、新年互礼会で各事業所の目標を立て、日々取り組んでいる。	年1回、新年互礼会に職員で作り上げた年間目標（長期・短期）を共有することで実践に繋げている。代表者も、定期的に訪問し、現状の把握に努めている。2～3カ月に1回、ミーティングで振り返り、理念に関しての意識の維持・向上を心がけ、更に実践に向けて工夫している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、町内の清掃に参加している。回覧板を入居者様と届けに行ったり、散歩等で挨拶を交わしている。	天候が良ければ、毎日の散歩や買い物などで、地域の人たちと日々顔を合わせる機会づくりに取り組んでいる。町内の行事が盛んな地域であり、地域行事への参加を通じて、日常的に交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の総会等で質問を受けたり、いつでも相談を受ける用意があることを伝えている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議ではホームでの活動状況などを報告している。町内会の行事などを教えて頂いている。	元漁師町でもあり、行事が盛んな地域である。ホーム長は、漁民会館の会合に参加し、地域情報を得たり、事業所の消防訓練時の参加をお願いしている。家族および地域包括支援センターの担当者の出席が難しい状況を踏まえ、今後は開催日時の調整など、参加を促す取組みに力を入れている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護受給者の為に生活課と連絡をとっている。	困りごとなど相談が必要な時は、連絡を取っている。生活保護担当者や後見人と連携しながら、協力関係を築くよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関や職員通用門には、午前8時から午後5時までは常時開放している。市の研修会にも出席し、身体拘束のないケアを行っている。</p>	<p>玄関は、日中は開放している。危険と思われる階段には、夜間のみ転落防止として、階段部分に施錠している。社内研修（年3～4回）を通じて、身体拘束について研修を行っている。入職時に職員の個人ファイルを作成し、研修内容が確認できるよう、分かりやすい記録整備がなされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全職員が社内研修を受け学んでいる。職員同士、お互い注意を払い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内研修や会議、ミーティング等で学んでいる。必要時は上司に報告し、支援につなげている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、重要事項説明書・契約書により十分な説明を行い、理解・納得の上で、署名・押印を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置し、面会時にも意見や要望をお聞きしている。意見や要望があった場合、現場の意見も聞き管理者会議で話し合い、利用者や家族に反映できるようにしている。</p>	<p>毎月の暮らしぶりは、担当職員から手紙で知らせている。家族対応の受診の際には、ホームでの生活状況を口頭または書面にて伝えている。日頃から、個人的な相談もしやすいような雰囲気づくりに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやミーティング、互礼会の集まりで意見や提案を聞いている。管理者会議で検討し、業務に反映させている。</p>	<p>敬老会をグループ全体で行っていたが、多人数になることや交通手段、利用者の体調面を考慮し、各事業所で行うようになった。また若い利用者もいるため、敬老会の名前を”寿を祝う会”と変更した。同グループ全体で職員の自己評価を年1回実施し、必要時は面談などを行い、職場環境の充実を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>申告書があり、職員は希望や意見を伝えている。研修や勉強会の為の勤務調整を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内外の研修の機会があり、資格取得の為の援助もされている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>市や協会主催の研修に参加し、同業者との交流を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前訪問を行い、本人や家族からお話を伺い、不安や心配がないように説明し、見学にも来て頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の面接で家族の困っていることと要望を聞き、入居後も面会時などにホームでの様子をお伝えし、不安解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人・家族から話を聞き、その時に一番必要であるサービスを提供できるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の持っている能力を生かし、入居者と一緒に作業を行い一日を過ごしている。作業後は感謝の気持ちを伝えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の訪問時にはホームでの様子を伝え、時には家族に相談しながら共に支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居前からの美容院や病院があり、入居後もそこに行きたい希望があれば、家族の力も借りながら付き添い出かけている。</p>	<p>利用者の要望（お墓参り、美容院など）があれば、それらを叶える取り組みをしている。町内に”いきいきサロン”が開催されているとの情報を得て、今後は参加する方向で考えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を築けるように職員が間に入り、話をし食事時には一緒にテーブルにつき過ごしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了し退去された後も、希望があれば家族の相談にのり支援に努めている。死亡退去時、法要や納骨もお手伝いしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者との会話の中で、意向や希望などの把握に努めている。本人から話が聞けない場合は、表情や仕草から思いをくみ取りケアに活かしている。	日々の会話や行動などを「個人ファイル」に丁寧に記録し、職員全員が共有している。利用者個々の希望や意向は反映され、可能なことは実現できるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人・家族・入居前の関係者から情報収集を行い、記録している。入居後も面会に来られる方からお聞きし情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりに適した一日の過ごし方や考え、日々の生活を共に行い、記録を重ねる事で現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を用い、アセスメントしている。往診時にホームドクターの意見もお聞きしている。1ヶ月ごとのモニタリングを行い、4ヶ月ごとにプランを作成している。</p>	<p>出来る限り今までの生活の維持・継続を目指し、利用者に寄り合いながら対応している。生活歴や日々の関わりから、ニーズを把握し、本人の生きがい、役割づくりとなるよう具体的な計画内容となっている。状態変化があれば現状に即して見直しなどを実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活日誌の記録、職員の申し送りノートなどで情報を共有、実践し介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人の意思を尊重しながら、本人・家族のその時の状況にできるだけ合わせ、支援できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の商店へ買い物に出掛けたり、回覧板を職員と一緒に送ったりしている。町内会の清掃やとんど祭の行事に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前のかかりつけ医を希望される時は、引き続きお願いしている。特にない場合は、本人・家族に納得して頂き、ホームドクターの診察を受けて頂いている。</p>	<p>入居時に相談しながら、かかりつけ医を決めているが、大半の方が事業所の協力医が主治医となっている。協力医の往診体制や看護職員の配置により、適切な医療を受けられるよう、緊急時の連絡も整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日常の気付きや体調変化が見られた場合、看護職員に報告・相談し、必要時にはホームドクターに連絡し、適切な処置が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には面会に行き、洗濯物を届け病院関係者より経過を伺っている。早期に退院できるように情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化した時や、看取り時の方針を家族に説明し承諾を得ている。状況の変化とともに、本人・家族・ホームドクター・職員と話し合い、意向の確認を得ている。</p>	<p>最後まで看取りを行う方針である。終末期には、特に医療との連携が必要なため、社内研修や外部研修を通じて、資格取得などにも力を入れている。家族の希望があれば、ホームでの寝泊りも可能としている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成しており、それに添って応急手当が出来るように研修・実践を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練を行っている。夜間はマニュアルをテーブルに置き確認している。事業所内で緊急連絡網を作成し、緊急時には活用できるようにしている。</p>	<p>年2回の訓練を実施している。特に災害時は、初動行動が必要なため、近隣と同グループの職員がすぐに駆けつけられる緊急連絡網を見直し、現在再作成中である。なお、緊急事態を想定し、備蓄品を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	トイレ誘導や失禁時には、さりげなく言葉掛けをしている。個々の人格を尊重した言葉遣いや、態度に気を付けている。	外部研修や社内研修を受けている。月2回の管理者会議では、同グループの事業所の管理者が集まり、各ホームでの現状および課題点などをあげて、次のステップに繋げるように取り組んでいる。年1回、新年互礼会では、会計士や弁護士による権利擁護の勉強会を実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意思決定を大切にし、食べたい物、飲みたい物、どうしたいかなど、自己決定出来る場面を作り、一緒に考え決めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の時間の流れは決まっているが、その中で、本人のペースでしたい事などの希望を取り入れ支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの理美容院にお連れしている。外出時には、お化粧したり、おしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立に好みを取り入れ、盛り付け、食事の準備、片付け等一緒に行っている。誕生日や行事・季節に合わせた食事を楽しんで頂いている。	利用者の状況に応じて、3食共に手作りの食事提供をしている。誕生日は、お花と色紙（1年間の個人写真）のプレゼントを手渡し、全員でお祝いをしている。本人の好むもの（ケーキ、おはぎなど）を取り入れ、楽しんで頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分量は生活日誌に記録し、一人ひとりの状態に合わせた量や形態で提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行い、自力困難な方には介助し行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎日の習慣に添ったトイレ誘導を行っている。排泄状況を生活日誌に記録し、パターンの把握に役立て、トイレへの誘導を行っている。</p>	<p>排尿・排泄パターンを把握し、毎日の習慣を把握している。トイレに行く時の利用者個々のサインを見逃さないように、適切なトイレ誘導を行い、自立支援に向けて取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表や、生活日誌に記録し常に排便状態を把握するよう努めている。腹部マッサージや起床時に牛乳を飲用したり、散歩や運動を心がけ、便秘予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴できる。季節で柚子湯などでも楽しんで頂いている。</p>	<p>毎日、血圧測定を行い、健康チェックをしている。最低週3回の午後（15:00～17:00）入浴を行い、一人ひとりの状態を把握し、体調に合わせた入浴支援をしている。季節感のある入浴剤やゆず湯など工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりに応じ、昼寝の時間等を取り休息して頂いている。昼間はしっかり活動し、夜間の安眠へとつなげている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬手帳や処方時の説明書きを、職員全員が把握し、服薬の支援と症状の変化に気を付け、必要時にはホームドクターに報告している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	一人ひとりの力を活かし、洗濯たたみ、野菜の下ごしらえ等して頂き、役割を分担している。季節の行事などに参加し楽しんで頂いている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は散歩に出かけている。お花見や敬老会など行っている。食材の買い物にも、本人の希望を聞きながら、一緒に出掛けている。</p>	ホーム周辺が緑の多い環境であり、散歩するには適した立地である。気候が良ければ、毎日のように散歩や買い物などに出かけている。次年度（H28年度）には、遠方への外出計画を準備しているところである。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	家族より預かり金として出納帳を作り、外出時には自分で支払えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話を本人が希望された時や、家族からかかってきた時は、いつでも使用できるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地良く過ごせるように、音楽を取り入れたり、テレビをつけっぱなしにしないようにし、空調にも気を付けている。花や飾り物で季節を感じられるよう配慮している。</p>	<p>利用者と職員が話し合っ、季節感が味わえる作品づくりを行い、壁面に飾り付けをしている。利用者の大半は、リビングで過ごすことが多く、一人ひとりが心休まり、我が家のように生活されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居室における独りの時間も大切にしている。リビングでくつろげるよう、ソファを置いており、活用されている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には本人の使い慣れた物、好みの家具、自分で作った作品など飾り、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人の個性に合わせて、寝具や家具、生活必需品が自由に持ち込まれている。安心して過ごせる場所となるよう、本人や家族と相談しながら、より快適な居住空間づくりに努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ、浴室はわかりやすいよう表記し、手すりや入浴バーを設置している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい草津

作成日 平成28年4月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の緊急避難がスムーズに行えるよう、地域の協力を得る	町内防災組合との協力体制の締結	①運営推進会議を通し、具体的な協力体制の話し合いを進める	1年
2				②消防署の協力を得て、町内会と合同で避難訓練をする	〃
3	4	運営推進会議の内容をご家族に知って頂き、参加につなげる	運営推進会議に感心を持って頂けるよう情報提供する	①会議録を作成し内容をご家族にお伝えする	1年
4				②事前に推進会議の日時をご家族にお知らせし参加して頂く	〃
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。